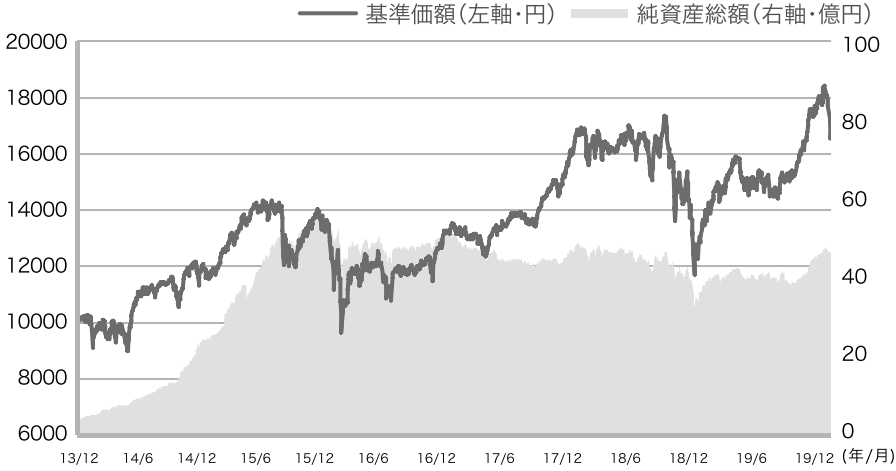




2020年1月31日付

基準価額の推移



ファンドのデータ

基準価額	16,624円
純資産総額	4,263百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除されています(後述の「ザ・2020ビジョンの費用について」をご覧ください)。
 ※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式	94.3%	▲0.4%
投資証券等	0.0%	±0%
現金等	5.7%	0.4%
構成銘柄	56社	+3社

※投資証券等とはREIT(不動産投資信託)等、上場している株式以外の有価証券。

分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)	第4期 (2017年12月18日)	第5期 (2018年12月18日)	第6期 (2019年12月18日)
0円	0円	0円	0円	0円	120円

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合があります。

基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
▲7.42%	5.65%	10.05%	20.15%	27.19%	41.89%	67.38%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

運用責任者メッセージ

当ファンドの名前の由来でもある2020年を迎えました。私たちは、30年周期で日本が大きく変わるリズムに注目してきましたが、まさに、2020年は新しい30年が始まる起点となる年です。今年のダボス会議でも地球環境の持続性のためのCO2の削減が大きなテーマとなり、資本主義についての新しい考え方も議論されました。まさに、変化の起点を感じる内容です。昨年、当ファンドが圧倒的に高いパフォーマンスあげることが出来たのも投資先企業がその変化を捉え大きく成長を始めたからだと思っています。年初から米国とイランとの緊張の高まりや、新型肺炎の拡大で株価は大きく調整をしています。当ファンドも影響を受けていますが、投資先の企業の「変化」に取り組む前向きな姿勢は変わりません。

今年も「ザ・2020ビジョン」に、どうぞご期待ください。



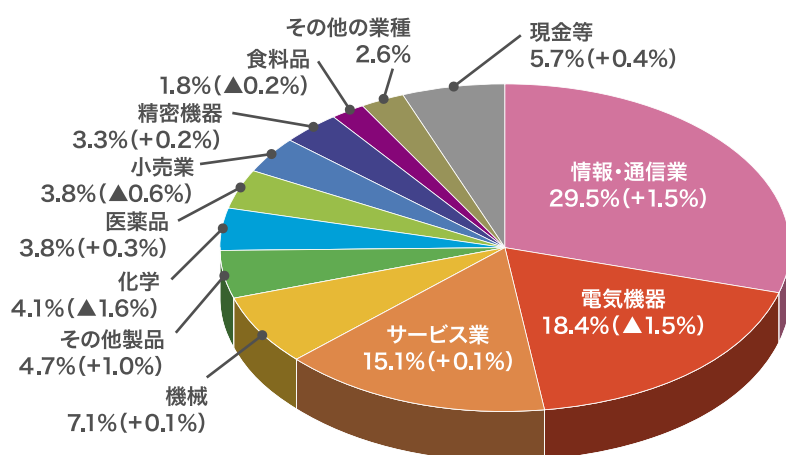
代表取締役社長
兼最高運用責任者 伊井 哲朗

市場概況

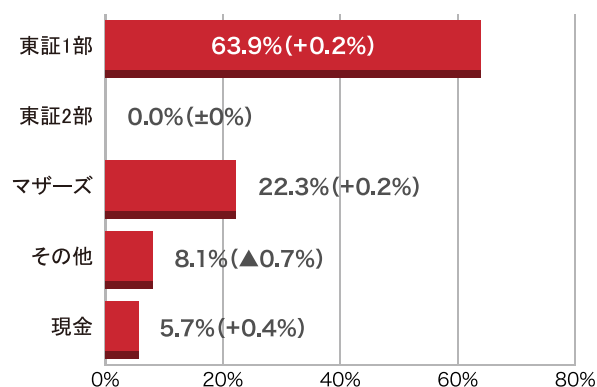
1月前半の日本株は波乱のスタートとなりました。2日に米国防省がイラン革命防衛隊の司令官を殺害したとの発表で中東情勢に対する懸念が強まり日本株は急落して始まりましたが、その後に米国とイランの軍事衝突がエスカレートしなかったことから中東情勢への懸念は後退し反発に転じました。中旬にかけては米中通商協議の進展期待から上昇し、15日に米中が「第1段階の合意文書」に署名したことで日経平均株価も24,000円台を回復しました。後半の日本株は大幅下落となりました。中国武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が世界景気に悪影響を与えるとの見方から世界的に株価が下落するなか、春節明けとなった30日に台湾株式市場が急落となり日経平均株価も23,000円割れとなりました。31日未明にWHOが「緊急事態」を宣言したことで感染拡大防止に向け国際的な協力体制が出来るとの期待から反発に転じましたが、上値も重く月末の日経平均は前月末比451円安(▲1.91%)の23,205円で取引を終えました。

トレーディング部 瀧上 幸男

資産・業種別構成比 ()内は前月比

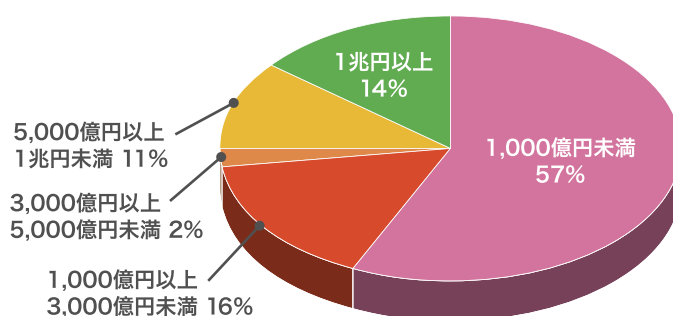


市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 時価総額別構成比については、構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を示しています。

時価総額別構成比



運用状況

◎ファンドの月間リターンと主な投資行動

1月、当ファンドは国内株式市場の全体の下落に比べ、やや大きな下落となりました(東証マザーズよりは小幅)。上旬までは設定来高値の更新が続いていましたが、月末にかけて小型成長株の下落が大きくなったことが要因です。組入上位10銘柄の中ではリクルートHDやソニーが堅調でした。一方で、ワークマンやジャパンエレベーターサービスなどこれまで好調だった銘柄の下落が顕著でした。

最高運用責任者 伊井 哲朗

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

組入上位10銘柄の紹介

(2020年1月31日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
電気機器	3.9%	世界トップシェアを誇る半導体“CMOSイメージセンサー”を成長のけん引役に、ゲーム、映画、音楽、エレクトロニクス製品でシナジーを掘り起こし、持続的な高収益、新たな価値を提供し続ける企業を目指す。
その他製品	3.7%	据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。ゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。「人々を笑顔にする娯楽をつくる会社」を目指し、今後は有力新作ソフトの拡充、オンライン機能の拡充に加えて、キャラクターをテーマパークや映像コンテンツ、キャラクターグッズなど多分野に展開することで、「任天堂IPに触れる人口の拡大」を図り、企業価値向上を目指す。
サービス業	3.6%	「インターネットを活用し、健康で楽しく長生きする人を一人でも増やし、不必要な医療コストを一元でも減らす事」を事業目的に、医療従事者向け情報サイトで製薬会社の情報提供を支援。「医療で変革を起こし続ける」をモットーに、医師のキャリア支援など医療周辺領域での事業を拡大し、成長を加速。
サービス業	2.9%	会社設立以来、60年を超えて常に変化を続け新しい価値の創造を続ける。峰岸社長は、「企業文化以外は全て変えていく」と決めて同社の変化を推進。この10年でゼロに近かった海外売上高比率も50%を超える勢い。
電気機器	2.7%	モーターの開発・製造・販売が事業の中心。HDD用の精密小型モーターでは世界首位。中期戦略「Vision2020」で目標とする2020年度売上高2兆円、営業利益率15%以上、株主資本利益率18%以上、の達成に向けて、創業者である永守会長兼CEOがグループを牽引。
情報・通信業	2.6%	ネット上で完結する印刷・広告プラットフォーム「ラクスル」を運営。大企業中心に垂直統合で形成された産業をインターネット・シェアリングにより水平分業化することで、日本全体の生産性向上に取り組む。物流の効率化を推進するプラットフォーム「ハコベル」の展開に注目。
サービス業	2.5%	エレベータの保守・リニューアルを手がける。対象市場は国内に稼動する約100万台のエレベータ。その約8割を設置したメーカー系保守会社が、残り2割を同社などの独立系がメンテナンスを請け負う。エレベータの老朽化が進むなか市場が堅調に拡大。価格設定を含めたコスト競争力、リモートメンテナンスなどを備えた技術力、東証上場によるブランド認知向上などを強みにシェア向上を図る。
情報・通信業	2.5%	「経済情報で、世界を変える」をミッションに掲げ、法人向け業界情報プラットフォーム「SPEEDA」、経済ソーシャルニュース「NewsPicks」を展開。今後の成長が期待されている米Quartz事業では、2021年EBITDA黒字化の目標に向け意欲的な先行投資を敢行中。
情報・通信業	2.4%	「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」掲げ、中堅から大企業を中心にソフトウェアの品質保証・テスト事業を展開。卓越した実践力を持つ丹下社長、会社の「品格」面から成長を支える松尾副社長により、売上高1000億円超の世界No.1品質保証専門企業を目指す。
小売業	2.3%	1982年設立。北関東のスーパーマーケットから分離した作業服専門チェーン。機能性があるのに、徹底的に安いのが特徴。従来、運送業や設備工事業、土木業などに従事する人たちが購買の中心だったが、SNSや口コミで支持され、一般消費者への購買も広がってきている。需要予測システムやトレンド分析の活用などで売れ残りを減らす施策も展開。

● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。 ● 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

「5G(第5世代移動通信システム)」の動向と今後のスケジュール

いよいよ国内では2020年春から5Gの商用化が本格的にスタートします。5Gは「超高速・大容量」「超低遅延」「多数同時接続」という特徴を持っています。これらの特徴により、4K/8K高精細映像やAR/VRを活用した高臨場感のある映像の伝送、自動運転サポートや遠隔医療などを実現し、様々なサービス、産業を革新することが期待されています。

1980年代から開始したモバイル通信ネットワークは、およそ10年程度のスパンで1G(Generaition;世代)から4Gへと進化してきました。1世代進む毎に通信速度が向上し、4Gまでは主に人と人とのコミュニケーションを行うためのツールとして発展してきました。5Gでは様々な人やモノがネットワークにつながるIoT時代に向けて、その重要な基盤となることが期待されています。

国際的な移動通信システムの標準化団体である「3GPP(3rd Generaition Pertnership Project; 第三世代携帯電話の時代から継続して、モバイル通信の標準化を行っており、5Gにおいても各国・地域に存在する主要標準化団体の取りまとめ役を果たしている)」において、5Gの国際標準仕様が策定されています。5G標準化はフェーズ1、フェーズ2、フェーズ3に分けて標準化され、フェーズ1を「リリース15」として主に超高速通信向けの仕様を中心に2018年6月に規定されました。フェーズ2の「リリース16」では、多数同時接続、超低遅延通信向けを中心に2020年春頃に仕様が決まる予定です。フェーズ3では「監視カメラ」「車両同士の通信」など更なる機能追加要求への対応として、「リリース17」が2021年秋までに仕様完了予定です。

「リリース15」では、用途としてまず5G携帯電話の商用化が立ち上がり、我々の投資対象となる国内企業でも、半導体、半導体製造装置、電子部品、材料系、通信系計測器、基地局工事、などの分野の企業が先行して恩恵を受けることが想定されています。「リリース16」、「リリース17」においては、ローカル5G、自動運転など、携帯電話以外の用途が徐々に広がっていき、恩恵を受ける国内企業もそれにつれて広がっていくことが想定されます。

研究開発分野では、中国ファーウェイ社が5G関連特許数で首位の座に位置し、5Gを巡る技術開発競争では携帯端末、基地局ともに頭一つ抜き出ている状況です。5Gを巡る米中の主導権争いの中、ファーウェイの一人勝ちに業を煮やした米国が中国企業への「制裁」を乱発しているといった構図が透けて見えてきます。

アメリカ、中国、韓国、イギリスなどでは2019年までに5Gの商用化がスタートしています。2020年春を商用化スタートとしている日本は出遅れ感が否めません。こうした経験から、国内では総務省を中心に次世代規格「6G」(2030年頃導入見込み)の技術開発や通信規格の標準化などへの取り組みを開始しています。既に取り組みを表明しているアメリカ、中国などと早くも主導権争いの様相を呈しています。

これまで見てきたように、5Gの広がりにより、時間の経過とともにその恩恵を受ける製品、部品、サービスなどが変化していくことが想定されます。これらの変化により、産業構造もまた大きく変化する可能性を念頭に置きつつ、その兆しを出来るだけ早く先取りするべく、丁寧に観察していきたいと考えています。



シニア・アナリスト
末山 仁

コモンズPOINTからのお知らせ

【コモンズPOINT応援団】

「ザ・2020 ビジョン」の寄付プログラム、コモンズ POINT(障がい者スポーツを応援するプログラム)の第7期応援先は、(特)日本視覚障害者柔道連盟と(一社)日本知的障害者水泳連盟の2団体です。

<https://www.common30.jp/fund2020/point.php>

みんなの水泳の絵 絵画展@千葉のご報告

1月13日(月)千葉県国際総合水泳場にて開催された第3回日本知的障害者選手権新春水泳競技大会。今回も応援に駆け付けてくださったコモンズPOINT応援団/コモンズのお仲間が、入賞選手にメダルを授与する大役を務めてくださいました。また「みんなの水泳の絵2019」絵画展も開催させていただきました。

その時の様子を下記ブログにてご紹介させていただいておりますので是非ご覧ください。

<https://park.common30.jp/2020/01/2019.html>

これからの大会のご案内 ※観戦自由です。

(特)日本視覚障害者柔道連盟→3/8

東京国際視覚障害者柔道選手権大会2020@講道館

(一社)日本知的障害者水泳連盟→3/6~3/8

2020パラ水泳春季記録会兼2020日本代表選手選考戦@静岡県富士水泳場



コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up!セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名	日付	時間	場所
コモンズ 30 塾【企業との対話】 コモンズ 30 ファンド投資先企業 ユニ・チャームをお迎えして	3月16日(月)	19:00~21:00	東京21Cクラブ(東京都千代田区)
【こどもトラストセミナー】 おかねの教室「かきくけコモンズ」	3月1日(日)	10:00~11:30	コモンズオフィス(東京都千代田区)
【ライブ配信WEBセミナー】 はじめてのコモンズ(ファンド説明会)	【ライブ配信】 2月26日(水)	14:00~15:00	お好きな場所で!
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)	【お子様連れ歓迎】 2月10日(月)	13:30~15:00	コモンズオフィス(東京都千代田区)
	2月15日(土)	10:00~11:30	
	2月18日(火)	18:30~20:00	
	【池袋】 2月20日(木)	18:30~20:00	貸会議室マイ・スペース&BB 池袋西武横店 (東京都豊島区)
【お子様連れ歓迎】 2月21日(金)	13:30~15:00	コモンズオフィス(東京都千代田区)	
2020年は変化の起点 注目の企業をファンドマネージャーが語る ~ザ・2020ビジョンとは~	2月17日(月)	18:30~20:00	カフェサルバドルビジネスサロン (東京都中央区)
2020年からの資産形成に大切なこと (ファンドの説明含む)	【金沢】 2月29日(土)	14:00~16:30	近江町交流プラザ(石川県金沢市)

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく お願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行なえない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第32号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○			

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■ コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)	■ ウェブサイト
	03-3221-8730	https://www.common30.jp/
<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>		<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>